

○添付書類1

実務経験のある教員による授業科目の配置(学校設置基準の1割以上)

学科名 音楽・放送芸術科

【コンサート制作・マネージャーコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
千葉 彩乃	ライブ制作実習	54	数多くのコンサート・イベント現場を経験し活躍。
千葉 彩乃	イベント制作Ⅲ	27	数多くのコンサート・イベント現場を経験し活躍。
千葉 彩乃	企画考案制作	27	数多くのコンサート・イベント現場を経験し活躍。
佐藤 直子	CAD実習Ⅱ	27	二級建築士とインテリアコーディネーターの資格を持ち設計・企画・プランニングを手掛ける。
横山 聡史	プランニングⅢ	27	イベント、キャンペーンのプロデュースなどを手掛けている。
佐藤 喬	マネジメントⅠ	18	音楽レーベルでアーティストの発掘、育成を行うほか、ボーイズグループのマネージャーとして活躍。
計		180	

【サウンド・ステージコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
斎藤 康次	PA実習Ⅱ	27	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
斎藤 康次	機材概論Ⅱ	27	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
斎藤 康次	ローディー実習Ⅱ	27	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
斎藤 康次	ライブ音響実習	48	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
斎藤 康次	コンソールレニング	27	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
千葉 諭	PLOT制作Ⅰ	27	音響エンジニアとして数多くのコンサートやイベントで活躍。
計		183	

【ライティングコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
竹平 耕一	TV照明Ⅰ	54	ドラマ、歌番組の中継、CMなど、さまざまなジャンルのテレビ照明を幅広く担当。
笹出 将太	舞台照明Ⅱ	72	照明会社に勤務し各種コンサートやイベントの照明プランナー、オペレーターとして活躍。
笹出 将太	照明プランニングⅠ	27	照明会社に勤務し各種コンサートやイベントの照明プランナー、オペレーターとして活躍。
佐藤 直子	CAD実習Ⅱ	39	二級建築士とインテリアコーディネーターの資格を持ち設計・企画・プランニングを手掛ける。
計		192	

【ビジュアルクリエイトコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
田端 優一	撮影実習Ⅲ	30	テレビカメラマンとしてドキュメンタリーやバラエティなど幅広く担当。
高橋 学	作品制作	27	映画会社取締役、映像会社代表。
高橋 吉之	スチール実習Ⅱ	27	写真撮影および編集業務のほか、カメラ修理も行う会社に勤務。
岡 宏樹	編集実習Ⅲ	24	映像制作会社勤務。
岡 宏樹	ストーリーング	27	映像制作会社勤務。
種田 俊二	企画制作Ⅲ	27	幅広いジャンルのテレビ番組企画制作を担当し活躍。
田苅子 和之	MA実習Ⅲ	27	音響効果にて各テレビ局にて報道・スポーツ・バラエティ番組等の録音を担当している。
計		189	

【スタジオサウンドコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
田苅子 和之	MA実習Ⅲ	27	音響効果にて各テレビ局にて報道・スポーツ・バラエティ番組等の録音を担当している。
金沢 琢司	ProTools実習Ⅱ	27	大手・音楽制作会社のレコーディングエンジニアとして活躍。
金沢 琢司	REC実習Ⅲ	54	大手・音楽制作会社のレコーディングエンジニアとして活躍。
八幡 淳	ラジオ実習Ⅲ	27	ラジオ局にて番組制作及びパーソナリティとして活躍。
森本 信	SR技術概論Ⅲ	27	レコーディングエンジニア、サウンドデザイナー、ミュージックディレクターとして活躍。
森本 信	機材メンテナンスⅡ	27	フリーランスの音響エンジニア、レコーディングエンジニアとして活躍。
計		189	

【ヴォーカルコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
曾山 良一	アンサンブル実習Ⅲ	216	現在、ギタリストとして年間約70本のライブのほか、作曲・編曲も手がける。
木村 圭子			プロベーシストとして道内外のミュージシャンのバックアッププレーヤーとして活躍している。
田森 正行			ロック、ジャズ、ラテンなどジャンルにとらわれないスタイルで道内を中心にドラマーとして活躍。
中田 有紀			プロミュージシャンのバックコーラスのほか、エルム楽器ヴォーカル講師などで活躍している。
中田 有紀	ヴォーカル実習Ⅲ	54	プロミュージシャンのバックコーラスのほか、エルム楽器ヴォーカル講師などで活躍している。
計		270	

【ギターコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
曾山 良一	アンサンブル実習Ⅲ	216	現在、ギタリストとして年間約70本のライブのほか、作曲・編曲も手がける。
木村 圭子			プロベーシストとして道内外のミュージシャンのバックアッププレーヤーとして活躍している。
田森 正行			ロック、ジャズ、ラテンなどジャンルにとらわれないスタイルで道内を中心にドラマーとして活躍。
中田 有紀			プロミュージシャンのバックコーラスのほか、エルム楽器ヴォーカル講師などで活躍している。
曾山 良一	ギター実習Ⅲ	54	現在、ギタリストとして年間約70本のライブのほか、作曲・編曲も手がける。
計		270	

【ベースコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
曾山 良一	アンサンブル実習Ⅲ	216	現在、ギタリストとして年間約70本のライブのほか、作曲・編曲も手がける。
木村 圭子			プロベーシストとして道内外のミュージシャンのバックアッププレーヤーとして活躍している。
田森 正行			ロック、ジャズ、ラテンなどジャンルにとらわれないスタイルで道内を中心にドラマーとして活躍。
中田 有紀			プロミュージシャンのバックコーラスのほか、エルム楽器ヴォーカル講師などで活躍している。
木村 圭子	ベース実習Ⅲ	54	プロベーシストとして道内外のミュージシャンのバックアッププレーヤーとして活躍している。
計		270	

【ドラムコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
曾山 良一	アンサンブル実習	216	現在、ギタリストとして年間約70本のライブのほか、作曲・編曲も手がける。
木村 圭子			プロベーシストとして道内外のミュージシャンのバックアッププレーヤーとして活躍している。
田森 正行			ロック、ジャズ、ラテンなどジャンルにとらわれないスタイルで道内を中心にドラマーとして活躍。
中田 有紀			プロミュージシャンのバックコーラスのほか、エルム楽器ヴォーカル講師などで活躍している。
田森 正行	ドラム実習Ⅲ	54	ロック、ジャズ、ラテンなどジャンルにとらわれないスタイルで道内を中心にドラマーとして活躍。
計		270	

【作曲・DTMコース】

教員名	担当科目	時間数	実務経験
中村未央	DTM制作	87	DTM技術者として作品を制作・提供するほか、作曲家としても活躍。
谷津 祐子	作曲Ⅱ	21	音楽家として活動するほか、大学で非常勤講師として活躍。
谷津 祐子	編曲Ⅱ	18	音楽家として活動するほか、大学で非常勤講師として活躍。
金沢 琢司	ProTools実習Ⅱ	21	大手・音楽制作会社のレコーディングエンジニアとして活躍。
森本 信	SR技術概論Ⅲ	24	レコーディングエンジニア、サウンドデザイナー、ミュージックディレクターとして活躍。
水口 陽子	キーボード実習	21	ピアノ、キーボード講師として活躍。
計		192	

【総合コース】※上記コースの授業科目より選択し受講

(例) サウンド・ステージコースとギターコースと作曲・DTMコースの授業を選択し受講。

教員名	担当科目	時間数	実務経験
曾山 良一	ギター実習Ⅲ	54	現在、ギタリストとして年間約70本のライブのほか、作曲・編曲も手がける。
斎藤 康次	PA実習Ⅱ	27	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
斎藤 康次	ライブ音響実習	48	音響会社の代表も務めPAエンジニアとして活躍するほか、レコーディング等も手掛けている。
中村未央	DTM制作	87	DTM技術者として作品を制作・提供するほか、作曲家としても活躍。
計		216	

科目名	ライブ制作実習		担当講師	千葉 彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー	授業形態	実習
期間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	270 分
修得目標	ライブ実践を行い、舞台監督・進行スタッフ・ケータリング業務・アーティストケアを学び修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月11日	授業ガイダンス / ライブ実習班分け			
2	5月18日	5/25ライブ実習準備 / 定期公演実施準備			
3	5月25日	ライブ実習①			
4	6月1日	6/8ライブ実習準備 / 定期公演実施準備			
5	6月8日	ライブ実習②			
6	6月15日	6/22ライブ実習準備 / 定期公演実施準備			
7	6月22日	ライブ実習③			
8	7月6日	ライブ実習反省会 / 定期公演実施準備			
9	7月13日	修得度合の確認 / 定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベント制作Ⅲ		担当講師	千葉彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	「定期公演」の企画制作実施までを行い、準備を通して制作・運営方法や、会館利用方法・広報活動・集客方法・仕事効率について実践を持って修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	授業ガイダンス / 定期公演の説明 / 役割分担・チーフ決め			
2	5月15日	役割分担・チーフ決め / 広報の仕事について			
3	5月22日	イベント企画書作成 / スケジュール概要説明 / コンセプト・テーマ立案 / 広報活動計画			
4	5月29日	実施までの全体スケジュール計画 打ち合わせ / コンセプト・テーマ立案 / 広報活動計画			
5	6月5日	各ポジションのスケジュール計画の作成			
6	6月12日	各ポジションごと実施準備 / 進捗報告 / 打ち合わせ			
7	6月19日	各ポジションごと実施準備 / 進捗報告 / 打ち合わせ			
8	7月3日	各ポジションごと実施準備 / 進捗報告 / 打ち合わせ			
9	7月10日	定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(70%)実技修得度(30%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	企画考案制作		担当講師	千葉彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	イベントを開催するための実施計画の立案、それに伴う制作業務を学び関わる人たちとのコミュニケーション力とスケジュール管理能力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス / 制作業務について / 予算の管理について / スケジュールの組み方			
2	5月19日	ライブ実習ゲストチーフ決め ~ 5/25実施計画 ~ 支出計画作成 ~ ゲスト資料作成			
3	5月26日	5/25ライブ実習精算 資料の整理、反省会、次回ライブ実習告知			
4	6月2日	6/8実施計画 ~ 支出計画作成 ~ ゲスト資料作成			
5	6月9日	6/8ライブ実習精算 資料の整理、反省会、次回ライブ実習告知			
6	6月16日	6/22実施計画 ~ 支出計画作成 ~ ゲスト資料作成			
7	6月23日	6/22ライブ実習精算 資料の整理 / ライブ実習の反省			
8	7月7日	仕事の効率化、情報の取り扱い、各セクションにおける資料の必要性			
9	7月14日	テスト対策 / 修得度合の確認 / 定期公演に向けての準備			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤直子	
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ベクターワークス機能を利用した図面製作.採寸図面化をを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス			
2	5月16日	レイヤー機能について. 寸法線カスタマイズ			
3	5月23日	グリッドについて 課題(グリッド機能を利用した図面の作り方)			
4	5月30日	壁ツールについて 課題1(壁ツールを利用した間取り製作)			
5	6月6日	壁ツールについて 課題1(壁ツールを利用した間取り製作)			
6	6月13日	平面図.立面図.展開図(図面の種類について)			
7	6月20日	データの取り出しと変換について			
8	7月4日	データの取り出しと変換について 課題			
9	7月11日	過去のデータを利用したPlan制作について(課題) まとめ			
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	プランニングⅢ	担当講師	横山 聡史
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー		
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー
期 間	前期	総授業回数	9 回
		1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	自ら情報収集して企画立案し、企画書を制作。実施スケジュールまでを制作する過程を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	5月10日	グループ分けを行い、企画テーマについてオリエンテーション。グループごとに基本的な案出し(ブレインストーミング)を行い、課題解釈力と発想方法を学ぶ。	
2	5月17日	企画実習① 情報やデータ収集とともに、グループ内での円滑なコミュニケーションについて学ぶ。	
3	5月24日	企画実習② 積極的に企画に参加することで、協調性とリーダーシップを如何に保持するかについて学ぶ。	
4	5月31日	企画実習③ 出された案を整理・統合し、企画案としてまとめていく過程を学ぶ。	
5	6月7日	企画実習④ プランを項目ごとにまとめ、説得力のある企画書を制作する方法を学ぶ。	
6	6月14日	企画実習⑤ プランをまとめ、見やすく説得力のある企画書を制作する方法を学ぶ。	
7	6月21日	企画案プレゼンテーション 如何に相手にわかりやすく伝え、質問にも明確に返答できるようになるための手法を学ぶ。	
8	7月5日	実施案制作① マスタースケジュール・運営組織図など、実施案に必要な項目について学ぶ。	
9	7月12日	実施案制作② グループごとに実施案を発表し、具体性・実現性・過不足について相互評価する。	
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)		
	成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	マネジメント I		担当講師	佐藤 喬	
講師実務経験	2010年～現在 ソニーミュージックで北海道エリアの新人アーティスト発掘・育成業務 2015年～現在 北海道ボーイズグループ“NORD”マネジメント業務				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	90 分
修 得 目 標	芸能マネージャーとしての一般的な知識や専門的な実務内容を教え 現場で即戦力となるべくスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	オリエンテーション / マネジメント概要・基礎①			
2	5月15日	マネジメント概要・基礎②			
3	5月22日	イベントまたはライブにおけるマネージャーの役割			
4	5月29日	興業制作するために必要な事・予算管理について			
5	6月5日	音楽制作をするアーティスト, タレントマネジメントに必要な事・音源制作、行程について			
6	6月12日	アーティスト, タレントの発掘～育成について / SNSについて①			
7	6月19日	SNSについて②			
8	7月3日	タレントアーティストの動画制作について 実習①			
9	7月10日	タレントアーティストの動画制作について 実習②			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法: B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	授業内容によりPCのご用意ご相談させていただきます				
注意事項	18時間中 7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	実践的なオペレート技術や機材のセッティング方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス			
2	5月17日	マイク鳴き比べ～マイキングによる音の違いを知る①			
3	5月24日	マイク鳴き比べ～マイキングによる音の違いを知る②			
4	5月31日	パワーアンプとスピーカーのセッティングについて			
5	6月7日	ハウスのスピーカーチューニングについて			
6	6月14日	モニターのスピーカーチューニングについて			
7	6月21日	モニターバランスについて			
8	7月5日	様々なPAシステムについて			
9	7月12日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材概論Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	機材の仕組みやスペックを学び、実際のPA作業に反映させる方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス			
2	5月16日	パワーアンプの種類と特性、スペックについて			
3	5月23日	スピーカーの種類と特性、スペックについて①			
4	5月30日	スピーカーの種類と特性、スペックについて②			
5	6月6日	スピーカーのチューニングについて			
6	6月13日	ケーブルとコネクタの種類と特性について			
7	6月20日	電源と電源ケーブルについて			
8	7月4日	ワイヤレスマイク、イン・イヤール・モニターについて			
9	7月11日	試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ローテーク実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	4リズムのメンテナンス作業、DJセットを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス 電源と感電対策、テスターの使い方について			
2	5月16日	キーボードシステムの基本セッティングについて			
3	5月23日	Drセットのメンテナンス、ヘッドの交換、チューニングについて			
4	5月30日	ギター、ベースの弦高、オクターブピッチ、P.U.高さ調整について 弦と小物類と内部配線について			
5	6月6日	ギター、ベースの弦交換、メンテナンスについて①			
6	6月13日	ギター、ベースの弦交換、メンテナンスについて②			
7	6月20日	4リズムの基本的な演奏			
8	7月4日	DJセットのセッティング、操作方法について			
9	7月11日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ライブ音響実習		担当講師	斎藤 康次・田上 涼	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	後期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	
					270 分
修 得 目 標	基本的なライブPAの実践力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月30日	授業ガイダンス			
2	12月7日	仕込みの説明			
3	12月14日	ライブ実習①			
4	1月18日	仕込みの実践① ミックスバランスについて①			
5	1月25日	ライブ実習②			
6	2月1日	仕込みの実践② ミックスバランスについて②			
7	2月8日	ライブ実習③			
8	2月15日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	48時間中 17時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	コンソールトレーニングⅠ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	オペレートに必要なコンソールと周辺機器の操作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス			
2	5月17日	デジタルコンソール使用方法について			
3	5月24日	ライブ実習のデータ打ち込み			
4	5月31日	エフェクターの使用方法について			
5	6月7日	ライブ実習のデータ打ち込み			
6	6月14日	音作りについて			
7	6月21日	ライブ実習のデータ打ち込み			
8	7月5日	音源再生について			
9	7月12日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PLOT制作 I		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	サウンド・ステージ		講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	実践的な資料作成を行い、音響プランニング全体の知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	新入生歓迎ライブの資料の検証と、定期公演に向けた引き継ぎ資料の作成			
2	5月19日	資料作成に必要な情報収集について(出演者、編成、使用機材、会場、各所の担当者など)			
3	5月26日	会場の資料を基に、舞台図面の把握、搬入条件や導線、禁止事項について			
4	6月2日	出演者の資料を基に、PLOT、仕込み図の作成について			
5	6月9日	イベントの内容、進行に合わせた、転換プランの作成について			
6	6月16日	各セクションの資料と、音響全体のプランニングについて			
7	6月23日	在庫リスト、出庫する機材リストの作成について			
8	7月7日	定期公演に向けた準備(体制表、役割分担、必要資料の内容確認など)			
9	7月14日	定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	参考資料の配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	TV照明Ⅱ		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティング		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	音楽番組やドラマのロケ、中継番組などの照明プランニングについて修得する。 ドーム・球場などの中継設備を見学・研修し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス 音楽番組やドラマで「水鏡」を出すプランニングについて			
2	5月16日	音楽番組などのプランで「ヘロ・メラの反射」のタッチを描く手法について			
3	5月23日	音楽番組などのプランで、夕陽・夕焼けなどを描く手法について			
4	5月30日	音楽番組などのプランで、様々な影をフロアーに描く手法について			
5	6月6日	音楽番組などのプランで「炎」や「影」など、動きのあるタッチを描く手法について。			
6	6月13日	ドラマなど、屋外・屋内(203)のロケーションのプランニング・技法について			
7	6月20日	スポーツ中継番組(ゴルフやジャンプなど)やドラマのロケーションなどで 外景を生かした映像のプランニング・技法について			
8	7月4日	音楽番組のプランで、キーライト(心理描写)・オサエ(SS)などの手法について ドラマのプランで、調光やON・OFの技法について(電気スタンド・ローソク明かり・花火など)			
9	7月11日	ドーム・球場などの中継設備を見学・研修する。 前期の総括および試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台照明Ⅱ		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ライティング		授業形態
期 間	前期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	自主性を高め、応用力と適時適切な判断力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	1年次の復習、時間を意識した実践的な動き方について			
2	5月15日	少数での仕込み、チームワーク確認			
3・4	5月22日	ライブ実習準備、ライブ実習①			
	5月25日				
5	5月29日	当て方で変わる見え方、感じ取り方について			
6・7	6月5日	ライブ実習準備、ライブ実習②			
	6月8日				
8	6月12日	空間の使い方について			
9・10	6月19日	ライブ実習準備、ライブ実習③			
	6月22日				
11	7月3日	実技試験①			
12	7月10日	実技試験②			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中 25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明プランニング I	担当講師	笹出 将太
講師実務経験	照明音響会社勤務		
対象学年	2 学年	対象コース	ライティング
期 間	前期	総授業回数	9 回
		1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	情報の抽出から必要に応じた図面制作を行える知識と技術を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	5月10日	照明図面制作におけるVectorWorksの基礎と応用/VectorWorks SpotLightについて	
2	5月17日	イベントに対して照明を考える①(スポーツ、eスポーツ(仮設)/イベント概要説明～図面制作)	
3	5月24日	イベントに対して照明を考える①(スポーツ、eスポーツ/図面制作～必要情報記載、提出)	
4	5月31日	イベントに対して照明を考える②(ファッションショー、ヘアーショー(舞台)/イベント概要説明～図面制作)	
5	6月7日	イベントに対して照明を考える②(ファッションショー、ヘアーショー/図面制作～必要情報記載、提出)	
6	6月14日	イベントに対して照明を考える③(式典(舞台)/イベント概要、図面制作～提出)	
7	6月21日	イベントに対して照明を考える⑤(野外イベント夏(仮設)/季節、気候による懸念事項、イベント概要説明～図面制作)	
8	7月5日	イベントに対して照明を考える⑤(野外イベント夏(仮設)/図面制作～必要情報記載、提出)	
9	7月12日	試験対策	
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング		授業形態
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
修得目標	基本操作+応用ツール .立体を理解し3Dび操作 図面の種類と必要性について理解し修得する。 図面の種類と必要性について理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス			
2	4月27日	図形製作(建具等)によるツール操作等確認			
3	5月18日	レイヤー機能について. 寸法線カスタマイズ			
4	5月25日	グリッドについて 課題(グリッド機能を利用した図面の作り方)			
5	6月1日	壁ツールについて 課題1(壁ツールを利用した間取り製作)			
6	6月8日	課題1			
7	6月15日	課題2(壁ツールを利用)			
8	6月22日	課題2(壁ツールを利用)			
9	6月29日	平面図.立面図.展開図(図面の種類について)			
10	7月6日	データの取り出しと変換について			
11	8月17日	他ソフトとの互換性について			
12	8月24日	課題(イラストレータ.Photoshopの利用の仕方)			
13	8月31日	過去のデータを利用したPlan制作について(課題) まとめ			
14					
15					
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	撮影実習Ⅲ		担当講師	田端 優一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	5 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	実践的に制作しながらロケーション、スタジオに必要な撮影技術全般を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月11日	授業ガイダンス～企画制作に沿った撮影機材の選定			
2	5月25日	ロケーション撮影及びスタジオ収録①			
3	6月8日	ロケーション撮影及びスタジオ収録②			
4	6月22日	ロケーション撮影及びスタジオ収録④			
5	7月13日	撮影実習Ⅲ 総まとめ講座～定期試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	資料配布				
注意事項	30時間中 11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作品制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画制作会社取締役				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ショートムービーを通して、映画を中心とした映像の制作、知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	授業ガイダンス。映像の知識①。			
2	5月17日	企画、プロットの作成①。映像の知識②。			
3	5月24日	企画、プロットの作成②。映像の知識③。			
4	5月31日	映像の知識④。シナハン。			
5	6月7日	テスト撮影。撮影実習。			
6	6月14日	シナリオの作成。			
7	6月21日	画コンテの作成。			
8	7月5日	ロケハン。カメラテスト。			
9	7月12日	まとめ。ブレインストーミング。			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	スチール実習Ⅱ		担当講師	高橋 吉之	
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	マニュアル露出の習熟、他者からの依頼、要求を表現する方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	授業ガイダンス、昨年の振り返りおよびカメラ操作方法の復習			
2	5月19日	露出のマニュアル操作習得、露出決定の方法			
3	5月26日	撮影実習、マニュアル露出の操作習熟、露出と表現との関係			
4	6月2日	光源、光線の種類と見つけ方生かし方、天候や場所、時刻による光の違い			
5	6月9日	撮影実習、屋外撮影			
6	6月16日	光源の種類とホワイトバランス、明るさやホワイトバランスの意識的なコントロールと効果			
7	6月23日	模擬受発注による作品制作①制作計画立案			
8	7月7日	模擬受発注による作品制作②撮影実践			
9	7月14日	作品講評および復習、試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	編集実習Ⅲ		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	4 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	映像表現の実践的なテクニックを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	05月18日	授業ガイダンス 作品制作 I 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
2	06月01日	作品制作 I 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
3	06月15日	作品制作 II 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
4	07月06日	作品制作 II 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
5					
6					
7					
8					
9					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ストリーミング		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ライブ配信を行うための基礎知識、機材の取り扱い方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	05月09日	授業ガイダンス ストリーミング、ライブ配信について			
2	05月16日	配信機材(カメラ、ビデオミキサー、ビデオキャプチャー、コンバーター、映像ケーブル)について			
3	05月23日	配信機材(マイク、オーディオミキサー、音声ケーブル)について			
4	05月30日	配信ソフトウェアについて			
5	06月06日	配信企画に沿った機材の選定と仕込み図について①			
6	06月13日	配信企画に沿った機材の選定と仕込み図について②			
7	06月20日	配信機材のセッティング①			
8	07月04日	配信機材のセッティング②			
9	07月11日	試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	企画制作Ⅲ		担当講師	種田俊二	
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	番組の企画・構成の立て方、台本作りを学び、撮影・編集実習と連動することで、番組制作の方法を実践的に修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	作品① 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品①)			
2	5月15日	作品① プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品①)			
3	5月22日	作品② 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品①続き)			
4	5月29日	作品① 追加撮影分プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品①完成)			
5	6月5日	作品① 試写 作品② 企画案・構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品②)			
6	6月12日	作品② プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品②)			
7	6月19日	作品② 構成表等作成 → 後日撮影実習予定(作品②続き)			
8	7月3日	作品② 追加撮影分プレビュー・編集構成表作成 → 後日編集実習予定(作品②完成)			
9	7月10日	作品② 試写 総復習・試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅱ		担当講師	田莉子和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	ビジュアルクリエイト		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について			
2	5月16日	MA作業準備 / 整音について(1)			
3	5月23日	MA作業準備 / 整音について(2)			
4	5月30日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)			
5	6月6日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(2)			
6	6月13日	整音 / ミックス について(1)			
7	6月20日	整音 / ミックス について(2)			
8	7月4日	実技習得度判定試験			
9	7月11日	定期試験対策 / まとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	MA実習Ⅲ		担当講師	田莉子和之	
講師実務経験	音楽・番組制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ビデオ制作における音声編集の知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	授業ガイダンス／MAの概要・知識について			
2	5月15日	作業準備 / ダイアログの整音(1)			
3	5月22日	作業準備 / ダイアログの整音(2)			
4	5月29日	ナレーション・アフレコの収録(1)			
5	6月5日	ナレーション・アフレコの整音(2)			
6	6月12日	ナレーション・アフレコの整音(1)			
7	6月19日	ナレーション・アフレコの整音(2)			
8	7月3日	実技習得度判定試験			
9	7月10日	定期試験対策 / まとめ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	27時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ProTools実習Ⅲ		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ProToolsの基本操作と概念をマスターしエンジニアとして必要な技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月11日	i/o設定(インプット・アウトプット・パス)の概要			
2	5月18日	編集モードと編集ツールの機能			
3	5月25日	編集モードと編集ツールの機能使用概要			
4	6月1日	クリップゲイン機能			
5	6月8日	タイムラインと編集操作の選択と理解			
6	6月15日	トラックグループ、VCAの操作			
7	6月22日	オートメーション機能の操作			
8	7月6日	トラックの複製・バウンス・コミット機能			
9	7月13日	ショートカットの概要			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	REC実習Ⅲ		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	スタジオシステムを信号の流れと仕組みを理解し、機材操作技術の習得とDAWとのシステムを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月10日	セッティング基礎1 ドラム録音のマイク選定・アレンジをはじめスタジオを機材について実践する。			
2	5月17日	セッティング基礎2 ベース・ギター・キーボード・ボーカル録音のセッティング方法を実践する。			
3	5月24日	セッティング基礎3 リズム録音のセッティング実践。			
4	5月31日	セッティング基礎4 ボーカル録音実践。			
5	6月7日	録音基礎1 バンドレコーディングを行う①			
6	6月14日	録音基礎2 バンドレコーディングを行う②			
7	6月21日	録音基礎3 バンドレコーディングを行う③			
8	7月5日	録音基礎4 バンドレコーディングを行う④			
9	7月12日	トラックダウン 録音した音源を用いてラフミックスを完成させる。			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各事業にてプリント配布				
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ラジオ実習Ⅲ		担当講師	八幡淳	
講師実務経験	FM NORTH WAVE、AIR-G'、HBCラジオ、STVラジオでパーソナリティ、コミュニティFM(エフエムアップル、FMおたる)での番組制作				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ラジオの存在意義～番組制作までを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	ラジオとは？：公共性を学ぶ			
2	5月15日	ラジオの存在意義：有益な番組作りとは？			
3	5月22日	各機材の役割と使用方法。基準の取り方。			
4	5月29日	伝えるとは？Ⅰ：番組の企画書・キューシートの役割			
5	6月5日	企画書を基にした番組制作			
6	6月12日	制作した番組の収録と検聴			
7	6月19日	伝えるとは？Ⅱ：起承転結・事象の理解を深める			
8	7月3日	起承転結・事象の理解を深めた番組制作			
9	7月10日	屋外収録+屋外でのネタ作りを学ぶ			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法：B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論Ⅲ		担当講師	森本 信	
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネジメントほか				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	スタジオ録音・音楽業界のシステムを習得するを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月12日	講義内容ガイダンス			
2	5月19日	音楽業界のシステム／演習問題小テスト			
3	5月26日	音楽業界の歴史とビジネス／演習問題小テスト			
4	6月2日	音響学音響物理基礎の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
5	6月9日	電気音響の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
6	6月16日	電気音響機器の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
7	6月23日	録音手法の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
8	7月7日	ミキシング技法／演習問題小テスト			
9	7月14日	JAPRS検定試験解説			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	JAPRSサウンドレコーディング技術概論、サウンドレコーディング技術認定試験問題集ほか				
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材メンテナンスⅡ		担当講師	福岡 博美	
講師実務経験	音響/録音エンジニア				
対象学年	2 学年	対象コース	スタジオサウンド		授業形態
期 間	前期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	XLRコネクタ/TRSフォンコネクタを使用したケーブル作成の処理を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	ケーブル、コネクタの種類などの復習、TRSフォンコネクタ/RCAプラグのしくみ用途について			
2	5月15日	XLR-TRSケーブル作製 適した長さで被覆剥き～予備ハンダ			
3	5月22日	XLR-TRSケーブル作製 適した長さで被覆剥き～予備ハンダ～チェック、完成まで			
4	5月29日	RCA-TRSケーブル作製の手順/作製			
5	6月5日	RCA-TSケーブル作製の手順/作製			
6	6月12日	苦手作業の克服			
7	6月19日	実技修得度確認①			
8	7月3日	実技修得度確認②			
9	7月10日	前期講義まとめと試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	27時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	アンサンブルⅢ			担当講師	曾山、中田、木村、田森、永盛
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム	授業形態	実習
期 間	前期	総授業回数	36 回	1回あたりの授業時間	270(90・135) 分
修 得 目 標	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上させる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月8日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン1 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
2	5月10日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン2 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
3	5月11日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン3 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
4	5月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン4 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
5	5月15日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン5 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
6	5月17日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン6 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
7	5月18日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン7 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
8	5月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン8 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
9	5月22日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン9 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
10	5月24日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン10 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
11	5月25日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン11 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
12	5月26日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン12 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
13	5月29日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン13 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
14	5月31日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン14 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
15	6月1日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン15 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
16	6月2日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン16 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
17	6月5日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン17 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
18	6月7日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン18 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
19	6月8日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン19 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
20	6月9日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン20 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
21	6月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン21 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
22	6月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン22 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
23	6月15日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン23 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
24	6月16日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン24 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
25	6月19日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン25 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
26	6月21日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン26 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
27	6月22日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン27 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
28	6月23日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン28 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
29	7月3日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン29 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
30	7月5日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン30 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
31	7月6日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン31 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
32	7月7日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン32 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
33	7月10日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン33 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
34	7月12日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン34 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
35	7月13日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン35 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
36	7月14日	定期公演に向けたバンドアンサンブルレッスン36 / オリジナル曲作成と伴奏編成			
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	126時間中 43時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル実習Ⅲ		担当講師	中田有紀	
講師実務経験	ヴォーカルトレーナー、ヴォーカリスト				
対象学年	2 学年	対象コース	ヴォーカル		授業形態
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	声色の変化を楽しみ、2～6度までのメロディを歌うテクニックや定期公演に向けて、オリジナル曲での自己表現力を高めテクニックを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)			
2	5月11日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)			
3	5月16日	ボイスチェンジ			
4	5月18日	4度ソルフェージュ1(オルタード)			
5	5月23日	4度ソルフェージュ2(オルタード)			
6	5月25日	リズムトレーニング(クラップ等)			
7	5月30日	洋楽を歌う1			
8	6月1日	洋楽を歌う2(コーラス)			
9	6月6日	洋楽を歌う3(コーラス)			
10	6月8日	2～5度までのソルフェージュ			
11	6月13日	6度ソルフェージュ(メジャースケール)			
12	6月15日	6度ソルフェージュ(マイナースケール)			
13	6月20日	有声音・無声音の違い、オリジナル曲メイク			
14	6月22日	6度ソルフェージュ1(オルタード)			
15	7月4日	6度ソルフェージュ2(オルタード)			
16	7月6日	オリジナル曲メイク			
17	7月11日	オリジナル曲メイク			
18	7月13日	実技試験			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習Ⅲ		担当講師	曾山良一	
講師実務経験	ギタリスト・作曲家として40周年				
対象学年	2 学年	対象コース	ギター		授業形態
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	あらゆるスタイルでの演奏を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング チューニングの精度について 実践			
2	5月11日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードEx① バッキングEx			
3	5月16日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードEx② バッキングEx アドリブEx			
4	5月18日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードEx③ バッキングEx(Song Ex)			
5	5月23日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング CapoコードEx① アドリブEx			
6	5月25日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング CapoコードEx② アドリブEx			
7	5月30日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング CapoコードEx③ アドリブEx			
8	6月1日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Song Ex① インプロビゼーションEx			
9	6月6日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Song Ex② (初見演奏Ex)			
10	6月8日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング capoコードEx～Song Ex			
11	6月13日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Song Ex③(初見・インプロビゼーション)			
12	6月15日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング 音色講座・実践・インプロビゼーションEx			
13	6月20日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング SongEx④ アドリブEx			
14	6月22日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング SongEx⑤ インプロビゼーションEx			
15	7月4日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング コードアレンジEx アドリブ研究			
16	7月6日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング Cutting Ex アドリブEx			
17	7月11日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング 機材研究(現物実践・EF・ケーブルetc)			
18	7月13日	Ag・Eg・メカニカルトレーニング インプロビゼーション まとめ～心得			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ベース実習Ⅲ		担当講師	木村圭子	
講師実務経験	ベーシスト				
対象学年	2 学年	対象コース	ベース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	アーティキュレーションの理解を深め、より高度なテクニックを学び、楽曲を表現できるスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	1年次の復習確認と実力テスト 運指・リズム等の基礎トレーニング、読譜・採譜トレーニング(毎回実施)			
2	5月11日	アーティキュレーション・トレーニング① ハンマリングオン			
3	5月16日	アーティキュレーション・トレーニング② プリングオフ			
4	5月18日	アーティキュレーション・トレーニング③ スライド グリッサンド			
5	5月23日	アーティキュレーション・トレーニング④ トリル シェイク			
6	5月25日	アーティキュレーション・トレーニング⑤ チョーキング			
7	5月30日	アーティキュレーション①～⑤を応用したラインメイク①			
8	6月1日	アーティキュレーション①～⑤を応用したラインメイク②			
9	6月6日	複合拍子 トレーニング 課題曲			
10	6月8日	変拍子 トレーニング 課題曲			
11	6月13日	コードプレイ			
12	6月15日	Slap サム&プル コンビネーション①			
13	6月20日	Slap サム&プル コンビネーション②			
14	6月22日	Slapテクニックトレーニング① サムアップ&ダウン			
15	7月4日	Slapテクニックトレーニング② ロータリー ダブルプル			
16	7月6日	Slapテクニックトレーニング③ 課題曲			
17	7月11日	習得度試験			
18	7月13日	2年前期まとめ Q &			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	楽器類、筆記用具 運指・リズム等の基礎トレーニング、読譜・採譜トレーニングは毎回実施。				
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ドラム実習Ⅲ		担当講師	田森正行	
講師実務経験	ドラマー 音楽講師				
対象学年	2 学年	対象コース	ドラム		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	18 回	1回あたりの授業時間 135 分	
修 得 目 標	スティックコントロールやフットワークなどの基礎練習の目的意識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	5月9日	シングルストロークの復習① 8分、16分音符のアクセント及びチェンジアップ			
2	5月11日	シングルストロークの復習② 3連、6連符のアクセント及びチェンジアップ			
3	5月16日	ダブルストロークの復習① 8分、16分系のロールの練習			
4	5月18日	ダブルストロークの復習② 3連系のロールの練習			
5	5月23日	フラム系の復習 フラムタップなど			
6	5月25日	ラフ系の復習① レッスン25など			
7	5月30日	ラフ系の復習② ラタマキューなど			
8	6月1日	パラデイドルの復習			
9	6月6日	パラデイドルデイドルの復習			
10	6月8日	ダブルパラデイドルの復習			
11	6月13日	ルーディメントの導入①			
12	6月15日	ルーディメントの導入②			
13	6月20日	フットワークの強化① 16分音符系			
14	6月22日	フットワークの強化② 3連符系			
15	7月4日	フットワークの強化③ ハイハットオープンの強化			
16	7月6日	手足のコンビネーションの復習① 16分音符系			
17	7月11日	手足のコンビネーションの復習② 3連符系			
18	7月13日	前期のトータルでのおさらい			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	54時間中 19時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM制作		担当講師	中村未央、作山 厚	
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTM		授業形態
期 間	後期	総授業回数	29 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
後期	DAW(Cubase)の応用操作、楽曲のアレンジ方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月27日	後期授業ガイダンス			
2	11月29日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-1 / 作曲・編曲の応用-1			
3	11月30日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-2 / 作曲・編曲の応用-2			
4	12月1日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-3 / 作曲・編曲の応用-3			
5	12月4日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-4 / 作曲・編曲の応用-4			
6	12月6日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-5 / 作曲・編曲の応用-5			
7	12月7日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-6 / 作曲・編曲の応用-6			
8	12月8日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-7 / 作曲・編曲の応用-7			
9	12月11日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-8 / 作曲・編曲の応用-8			
10	12月13日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-9 / 作曲・編曲の応用-9			
11	12月14日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-10 / 作曲・編曲の応用-10			
12	12月15日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-11 / 作曲・編曲の応用-11			
13	1月18日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-12 / 作曲・編曲の応用-12			
14	1月19日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-13 / 作曲・編曲の応用-13			
15	1月22日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-14 / 作曲・編曲の応用-14			
16	1月23日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-15 / 作曲・編曲の応用-15			
17	1月25日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-16 / 作曲・編曲の応用-16			
18	1月26日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-17 / 作曲・編曲の応用-17			
19	1月29日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-18 / 作曲・編曲の応用-18			
20	1月30日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-19 / 作曲・編曲の応用-19			
21	2月1日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-20 / 作曲・編曲の応用-20			
22	2月2日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-21 / 作曲・編曲の応用-21			
23	2月5日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-22 / 作曲・編曲の応用-22			
24	2月6日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-23 / 作曲・編曲の応用-23			
25	2月8日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-24 / 作曲・編曲の応用-24			
26	2月9日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-25 / 作曲・編曲の応用-25			
27	2月13日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-26 / 作曲・編曲の応用-26			
28	2月15日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-27 / 作曲・編曲の応用-27			
29	2月16日	Cubaseを用いた楽曲制作と実践-28 / 作曲・編曲の応用-28			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	87時間中 30時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作曲Ⅱ		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTM		授業形態
期 間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	スケールやコード、楽曲構成の理解をもとに意図的な作曲ができる総合的な力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月28日	楽曲の構成についての分析1			
2	12月5日	分析をもとにした作曲			
3	12月12日	楽曲の構成についての分析2			
4	1月23日	分析をもとにした作曲			
5	1月30日	総合的な課題作曲1			
6	2月6日	総合的な課題作曲2			
7	2月13日	総合的な課題作曲3			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各自五線紙を用意すること/授業内で随時プリント配布				
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	編曲Ⅱ		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTM		授業形態
期 間	後期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	コードパターンについて理解し、意図するコード編曲ができる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月27日	コードの機能と進行			
2	12月4日	コードトーンとアボイド			
3	12月11日	基本コードパターン 楽曲分析と編曲1			
4	1月22日	基本コードパターン 楽曲分析と編曲2			
5	1月29日	基本コードパターン 楽曲分析と編曲3			
6	2月5日	基本コードパターン 楽曲分析と編曲4			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各自五線紙を用意すること/授業内で随時プリント配布				
注意事項	18時間中 7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ProTools実習Ⅱ		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTM		授業形態
期 間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
				135 分	
修 得 目 標	ProToolsの応用についての知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月29日	ProTools実践1 ミックスの進め方①			
2	12月6日	ProTools実践2 ミックスの進め方②			
3	12月13日	ProTools実践3 録音素材のエディット基礎①			
4	1月24日	ProTools実践4 録音素材のエディット基礎②			
5	1月31日	ProTools実践5 マスターフェーダを使用しないミックス基礎①			
6	2月7日	ProTools実践5 マスターフェーダを使用しないミックス基礎②			
7	2月14日	ProToolsを使ったマスタリングの概要			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論Ⅱ		担当講師	森本 信	
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネージメントほか				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTM		授業形態 講義
期 間	後期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	スタジオ録音・音楽業界のシステムを習得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	12月1日	後期講義内容ガイダンス、音楽業界のシステム／演習問題小テスト			
2	12月8日	音楽業界の歴史とビジネス／演習問題小テスト			
3	12月15日	音響学音響物理基礎の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
4	1月19日	電気音響の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
5	1月26日	録音手法の復習とアドバンス／演習問題小テスト			
6	2月2日	ミキシング概論など／演習問題小テスト			
7	2月9日	次世代音響システム／演習問題小テスト			
8	2月16日	JAPRS検定試験対策と年間まとめ			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	JAPRSサウンドレコーディング技術概論、				
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	キーボード実習		担当講師	水口陽子	
講師実務経験	ピアノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTM		授業形態
期 間	後期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	鍵盤上でコードやリズムを理解し、様々な奏法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	11月28日	基本トレーニング、スケール練習、ピアノストローク			
2	12月5日	基本トレーニング、スケール練習、アルペジオ			
3	12月12日	基本トレーニング、コードワーク、リズムのキメ			
4	1月23日	基本トレーニング、コードワーク、パラディロール、ピアノ曲①			
5	1月30日	基本トレーニング、、リズムコンビネーション、ピアノ曲②			
6	2月6日	基本トレーニング、キーボードアンサンブル①、ピアノ曲③			
7	2月13日	基本トレーニング、キーボードアンサンブル②、ピアノ曲④			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				